



派手さはないけれど、心地よい。平川市の「何気ない日常」を未来へ。



平川市公式 note

2026 年 1 月 13 日 11:54

こんにちは、平川市です。

突然ですが、みなさんは自分の住んでいる街のどんなところが好きですか？

「買い物に便利」「おしゃれなお店がある」……いろいろな理由があると思いますが、平川市の住民アンケートで、住みやすさの理由として一番に挙げられた言葉があります。

それは、「災害や事故が少なく、安心して暮らすことができる」というもの。

今回は、そんな平川市の“住みこち”の秘密と、これからの未来をつくる「平川市産業振興基本構想」についてお話しします！

▼目次

青森県内の「住みこち」4年連続3位！

どんな世代にも、ちょうどいい。平川市の心地よさ。

なぜ「産業振興基本構想」をつくるのか？

「産業振興基本構想」で目指していくこと

現場の「声」から始まる、新しい挑戦

note で届ける「検討のプロセス」

青森県内の「住みこち」4年連続3位!

平川市は、大東建託株式会社が発表している「街の住みこちランキング 2025〈青森県版〉」において、4年連続で第3位にランクインしました！

住みこちは、3年連続で1位弘前市、2位上北郡おいらせ町。3位は4年連続で平川市。

街の住みこちランキング 2025〈青森県版〉(大東建託株式会社)

平川市の暮らしをひとことで表すなら、「自然と暮らしのちょうどいい距離感」です。

目の前には田んぼや畑、遠くには美しい山々が広がる…。

そんな心安らぐ風景がありながら、市内の中心部には日常生活に必要な施設やサービスが揃っています。



平賀駅前通りの様子。

車で5分圏内にスーパーやドラッグストアがあります。

どんな世代にも、ちょうどいい。平川市の心地よさ。

実際に暮らしている方々の声を覗いてみると、それぞれのライフスタイルに合わせた「ちょうどいい理由」が見えてきました。

子育て世代には 🧑🏫

落ち着いた環境で、のびのびと子育て。生活動線がシンプルだから、ママもパパも安心して過ごせます。

働く・学ぶ世代には 🚶

どこへ行くにもアクセスが便利！移動がスムーズな分、ほっと一息つける「ゆとり時間」が増えるはず。

日々の楽しみ 🍴

お買い物もごはんも、身近な場所で。必要なものがギュッと揃った、ちょうどいい「コンパクトな暮らし」が叶います。

派手なものはないかもしれませんが、でも、不便を感じることなく、穏やかに日常が続いていく。それが平川市の「住みこち」の正体です。



地域によってはこんな風景が日常です。

なぜ「産業振興基本構想」をつくるのか？

そんな住みやすい平川市ですが、他の地域と同じように、避けては通れない課題もあります。
人口減少や少子高齢化、物価高騰、そして老朽化するインフラなど…。

「この心地よい暮らしを、10年後、20年後の未来へどうやってつないでいくか？」 その答えを出し、具体的な動きを形にするためのロードマップ。

それが、「産業振興基本構想」です！

「産業振興基本構想」で目指していくこと

私たちが目指すのは、受け継がれてきた農業をただ守るだけでなく、これからの時代に合わせて「選ばれる魅力」へとアップデートすること。

もう少し具体的にお伝えすると、平川市の基盤である「農業」をしっかり守りながら、そこへ「食」や「観光」の掛け合わせを検討しています。

- 地域の農産物を活かした、新しい「モノ」をつくる
- 豊かな自然や文化を活かした、新しい「サービス」を届ける。

そうして生まれた魅力を、より多くの人に「楽しんでもらう」。その循環のなかで、まちの産業をより力強く育てていきたいと考えています。



農業を基盤とした魅力の
アップデートを模索中です。

現場の「声」から始まる、新しい挑戦

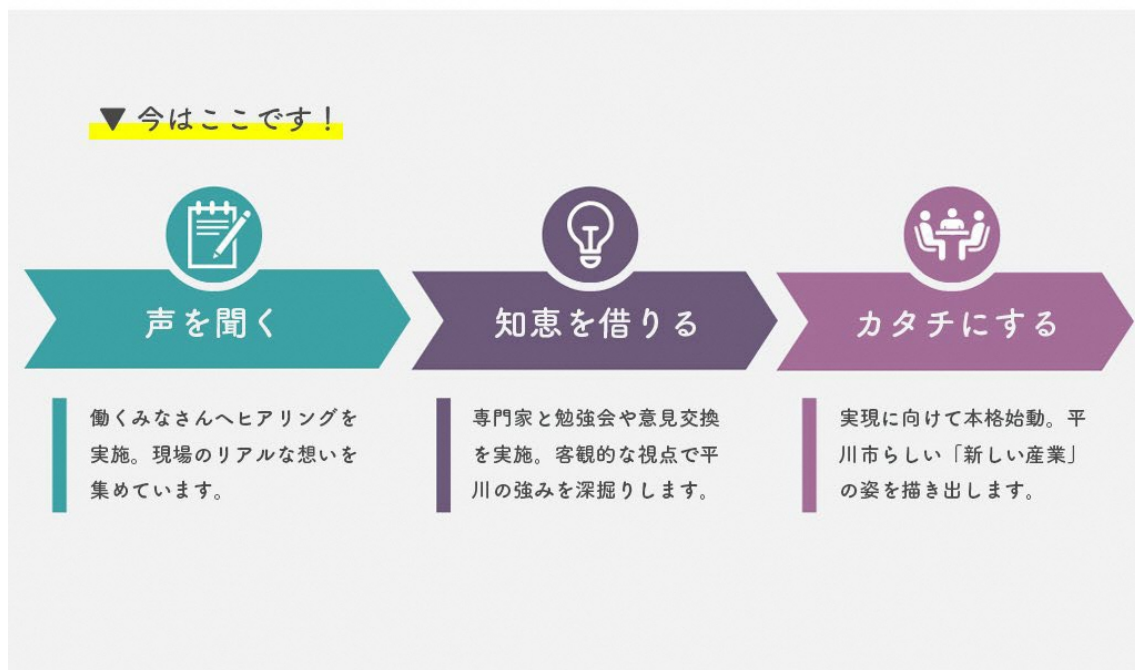
現在は、地域で育まれた農産物の価値をどのように高めていくのかについて、少しずつ話し合いを重ねています。

2025 年の 7 月から 10 月にかけて、農業関係者はもちろん、加工や販売に携わる事業者のみなさんを訪ね、率直な意見を伺うヒアリングを実施。

さらに、事業者のみなさんが集まり、情報交換する場もスタートしました！

「現場で何が起きているのか？」「どうすれば解決できるのか？」

今後は専門家のアドバイスも取り入れながら、平川市らしい産業の形を探っていきます。



今後の予定です。

挑戦はまだ始まったばかり！

note で届ける「検討のプロセス」

この公式 note を立ち上げた理由のひとつは、結果だけではなく、その「途中経過」をみなさんに知っていただきたいからです。

どんな人たちが、どんな想いで、平川市の未来を描いているのか？

関わる人の想いや熱意が伝わるような発信を続けていきます。

次回は、農業や加工、販売に関わる方々への「ヒアリングの様子」をご紹介します。

現場のリアルな声、ぜひ楽しみにしていてくださいね！

